

平成30年度第2回北海道入札監視委員会 開催結果

日時 平成31年1月17日(木) 15:25～
場所 道庁7階 農政部第1中会議室

(委員会次第)

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 報告事項
(1) 平成30年度入札契約執行状況(平成30年9月末)について
- 4 抽出審議
- 5 閉 会

平成30年度 第2回北海道入札監視委員会 出席者名簿

委員長	八幡 雄治
委員	池田 聡一郎
委員	蟹江 俊仁
委員	相馬 仁美
委員	吉原 美智世

※五十音順、敬称略

関係各部局出席者

所 属	職	氏 名
環境生活部環境局生物多様性保全課	課 長	武 田 敏 朗
〃	主 幹	渡 辺 一 裕
空知総合振興局保健環境部環境生活課	課 長	尾 崎 真 一
農政部農村振興局事業調整課	課 長	須 藤 正 之
〃	主 幹	高 橋 慎 哉
〃	主 査	奈 良 充
水産林務部総務課	課 長	黒 澤 政 之
〃	主 幹	山 崎 康 裕
〃	主 査	藤 間 秀 人
建設部建設政策局建設管理課	課 長	田 中 利 昭
〃	主 幹	佐 竹 英 二
〃	主 査	工 藤 利 忠
〃	主 査	中 野 啓 太
建設部建築局計画管理課	課 長	細 谷 俊 人
〃	主 査	小 屋 松 久 幸
出納局財務指導課	主 査	北 山 雅 也

事務局

所 属	職	氏 名
総務部	次長兼行政改革局長	古 屋 義 則
総務部行政改革局行政改革課	課 長	田 辺 きよみ
〃	主 幹	上 野 淳
〃	主 査	新 名 政 宏
〃	主 任	石 川 恵

平成30年度第2回北海道入札監視委員会議事録

1 開会

(事務局)

ただいまから平成30年度第2回北海道入札監視委員会を開催いたします。
開会にあたりまして、総務部次長兼行政改革局長 古屋よりご挨拶申し上げます。

2 挨拶

(次長兼行政改革局長)

入札監視委員会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

八幡委員長はじめ各委員のみなさまにおかれましては、年始めの大変お忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。

まず、始めに、例年であれば第2回の委員会に先立ちまして現地調査を実施しておりますが、本年度は9月6日の北海道胆振東部地震の発生に伴い、道の災害への対応に配慮していただき中止の判断をしていただいたところでございます。

これまで道では延べ1,500人を超える職員を被災地に派遣し、避難所の支援あるいは、災害復旧にかかる技術支援を行ってきたところでございます。

今後も被災されたみなさまの1日も早い生活再建ですとか、被災地域の復旧復興に向けて努力して参る考えでございます。

さて、本日の委員会ですが、平成30年度の9月末現在における入札契約の執行状況につきまして、ご報告をさせていただきますとともに、委員により抽出していただいた工事について、ご審議をいただくこととしています。

入札や契約の過程、その透明性を確保するため活発な審議をお願いいたします。

また、本日の委員会をもちまして第8期の入札監視委員会活動が最後となるわけでございます。八幡委員長、池田委員、相馬委員、吉原委員におかれましては、4年間、蟹江委員におかれましては8年間に亘りまして道の入札などの適正化に向けた貴重なご意見をいただいたところでございます。各委員のみなさまに深く感謝を申し上げます。開催にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

(事務局)

それでは、この後の議事進行は八幡委員長にお願い申し上げます。

3 報告事項

(1) 平成29年度入札契約執行状況(平成30年3月末)について

(八幡委員長)

それでは早速、議事に入りますが

報告事項「平成30年度の入札契約執行状況」について、説明をお願いします。

(事務局)

資料1-1に基づき説明

(八幡委員長)

私から何点か質問させていただきます。

7ページ目の本庁農政部の随意契約が5件という実績が記載されておりますが、どのような業務内容で、どのような経緯で随意契約になったのか教えてください。

(農政部)

農政部です。

業務内容につきましては、いずれも胆振東部地震の関連でして、5件中4件が農地等に大量の土砂が堆積したということで、ドローンによる地形測量を実施して被災図などを作成する業務となっております。

随意契約の理由は、業務期間に制限があるということで、緊急の必要により競争入札に付すことができない案件としまして、随意契約にしたものでございます。

残る1件につきましては、本年度胆振管内で撤去を予定していたため池におきまして、胆振東部地震によりまして、土砂が堆積してしまったということで、新たに異常出水の際でも安全に下流に水を流す対策が必要になったということで、その設計を業務委託として出したところでございます。

随意契約の理由としては、ダムの設計、解析の履行実績を満たすものが1者しかいなかったということで、契約の目的物が代替性のない案件として、随意契約としたところでございます。

(八幡委員長)

今のお話にも出てきましたが、昨年の北海道胆振東部地震の災害復旧について、道において復旧工事等を発注していると思いますが、発注状況、進捗状況はどのようになっていますか。

(農政部)

農政部です。

まず、農林水産省の災害査定ですが、10月16日から12月7日の間で行われ、査定額が国直轄で4箇所/484億9,300万円、道営で138箇所/19億4,700万円、団体営、市町村や土地改良区営になりますが、53箇所/6億5,400万円の災害査定となっております。道の復旧工事の発注状況ですが、12月に1件発注済み、今後2月に5件、3月以降に1件~2件の発注を予定しており、早期の復旧に努めているところでございます。

(水産林務部)

水産林務部です。

流木の撤去、土のうの設置といった応急工事については既に発注済みです。山腹崩壊等の災害復旧事業に係る治山工事と、林道施設災害復旧事業に係る工事につきましては、国の災害査定が先週で全て終了したというところでした、今後順次工事を発注していく予定になっております。また、林道施設災害復旧事業に係る工事につきましては、道有林分については道で発注、一般民有林分は被害を受けた各町の方で発注することとなります。各町の発注分についても、今後順次発注する予定となっております。

(建設部)

建設部です。

当部で把握しております河川、道路、港湾といった公共土木施設の被害ですが、国につきましては約40億円の被害があったとお聞きしています。道の公共土木施設につきましては、建設部関係はまだ災害査定中でありまして、被害の額が固まっていない状況ですが、今のところ16

0箇所で240億円程度になるのではと見込んでいるところでございます。

市町村につきましても、300箇所近い被害が出ておりまして、事業費で100億円程度見込まれるといった状況です。

先程もお話がありましたが、応急対策といいますか、道路の啓開作業等は終えておるところですが、今後の本復旧につきましては、昨年末に8本ほど2億円と少し。今年度も40億円などそのくらいで、実際はこれから設計して、発注するのは年度明けになるかという見込みです。

それから、国にお願いをしている部分もありまして、そちらにつきましては、直轄砂防災害関連緊急事業として大規模ですから40億円程度、知事からお願いして実施しているというところでございます。

(八幡委員長)

3年前の平成28年8月に北海道に上陸した台風災害の復旧工事は予定どおり完了しているのかどうか。土木以外は昨年時点ではほぼ完了したと報告を受けておりますが、土木の方は現在どのような進捗状況でしょうか。

(建設部)

今、先生から土木関係ということで河川関係ということで被害が大きかったということで、大体終了はしていますが、今回の災害により用地を取得してから工事を実施しなければならない箇所が数カ所ありまして、その部分について年度内に発注するものが約10億円ほどといったところで少し残っています。全体のボリューム感から言うと9割ほど終わっているという状況です。

(八幡委員長)

ほかの委員から質問はありますか。

(池田委員)

5ページ目ですが、工事の落札率ベースのところ、旭川建設管理部の随意契約が47件と今年が多かったように思いますが、その理由を教えてください。

(建設部)

地震の少し前に、留萌と上川で大雨の被害がございまして、旭川でいうと旭山動物園の近くでかなりの出水がございまして、緊急な随意契約ということで、随意契約が多くなったという所でございます。

(八幡委員長)

ほかになにかございます。よろしいでしょうか。

本来であれば、次に現地調査の報告をすべきところですが、昨年の地震の関係で現地調査が中止としたため報告はできないということになります。現地調査に関しまして準備等のご協力をいただいた胆振総合振興局並びにオホーツク総合振興局の関係者の皆さまに対しましてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

次に抽出審議に移りたいと思いますので、事務局は準備をお願いします。

(事務局)

それでは、この後、抽出審議に移りますが、本委員会における審議は北海道入札監視委員会運

営要領第3の2において非公開と規定されております。

何卒ご理解のうえ、関係機関以外の出席者並びに報道関係者におかれましては、ご退席をお願いいたします。

3 抽出審議（非公開）

空知総合振興局札幌建設管理部発注工事4件について審議を行い、拡大設計変更理由や工事等級のランクアップ理由などについて、委員より質問があり、考え方などの説明を行った。